

宇都宮スムージー販売

地産地消 素材生かし砂糖ひかえめ



宇都宮市産の野菜や果物を使ったスムージー（宇都宮市の宮カフェで）

宇都宮市内で栽培された野菜や果物を使ったスムージーの販売が、同市のアンテナショップ「宮カフェ」

（同市江野町）で始まった。

スムージーは、宇都宮市の農産物の需要拡大を目指して企画された。同市清原地区の生産者団体「Zutto」

「きよはら」の農家が生産した規格外のニンジンやブロッコリー、メロンなどを使用し、料理研究家の

臼居芳美さんが監修した。いずれも、砂糖などの使用を最小限にして、素材の味を生かしたという。

宮カフェの小野繁明さんは「将来的には、県内外の他の飲食店でも提供できるようにしていきたい」と話している。

9種類あり、200㍓・

総入りで3000～5000円。プラス2000円で380㍓・総でも提供する。

目の愛護デーで講演

眼科専門医の相談も

来月6日宇都宮

県眼科医会は10月6日、「目の愛護デー記念行事」を

宇都宮市保健センター（同市駅前通り）で開催する。

国際医療福祉大視機能療

法学科の新井田孝裕教授が

「中高年に多い目の疾患と早期発見の秘訣」と題して講演を行うほか、眼科専門

医による「目の健康相談」や「眼圧無料測定」も行わ

れる。

講演は午後2時開始で、先着200人。目の健康相談と眼圧無料測定は午後3時からで、同3時半に受け付け終了。入場無料。問い合わせはファクスで県眼科医会事務局（0289・775758）へ。